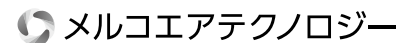


外壁用部材



軒天用ベントキャップ

防火ダンパー付軒天用ベントキャップ〈防火設備該当品〉

取扱説明書（据付説明書付）

この製品は、ダクト配管で換気を行う場合の屋外開口部を軒天井面に設ける場合に使用するものです。

■防火ダンパー付はダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。

■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

■この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

タイプ	適用パイプ口径 (mm)	適用パイプの種類		
		スパイラル ダクト	硬質ポリ塩化ビニル管 (VU、VP)	フレキシブル ダクト
AT-100	φ100	○	×	○
AT-125	φ125	○	○	○
AT-150	φ150	○	×	○
AT-175	φ175	○	×	○
AT-200	φ200	○	×	○

※AT-125タイプは2管路硬質ポリ塩化ビニル管対応（防火ダンパー付は除く）

●据付可能な天井板の厚さ…20mm以下

●温度ヒューズ公称動作温度

72℃ …形名の最後が「D」・「D**」・「D-**」

120℃…形名の最後が「K」・「K**」・「K-**」

※1：「*」には機種により異なったアルファベット
または数字が入ります。

※2：火気使用室（台所など）の排気用途では
120℃品をご使用ください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない
（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）
- 常時振動したり、振動しやすい場所には据付けしない（落下によるけがの原因）

指示に従う

- 本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に行う
（落下によるけがの原因）
- 必ず定期的（1年以内ごと）に点検を行う

注意

誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

指示に従う

- 据付けやお手入れの際は、手袋を着用する
（着用しないとけがの原因）

据付け前の準備

据付け前に下記のものをご用意ください。

・シーリング材（JIS A 5758適合品のシリコン系、変成シリコン系）

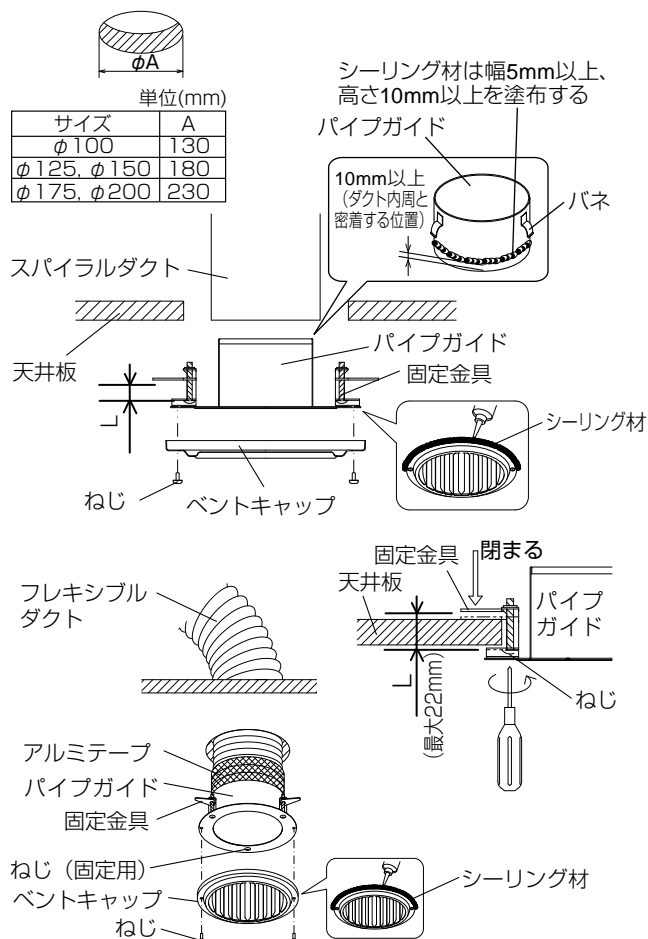
※フレキシブルダクトに据付ける場合

・市販のアルミテープ

据付け前のお願い

- 使用環境が-30℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- 重塩害エリアには、必ず重塩害グレード（受注対応品）をご使用ください。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害など）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
 - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
 - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
 - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
 - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
 - ・融雪剤が飛散する場所
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換・部品の交換が容易にできるところへ据付けてください。
- 雨がかかる場所に据付けた場合には開口部から室内側へ雨水浸入などが発生するおそれがあるため、雨がかかる場所へは据付けできません。
- 気象状況によっては雨水が浸入するおそれがあります。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装のはく離や製品各部の変色、腐食の原因となります。必ず下記の方法としてください。
 - ・タイル仕上げの外壁…必ずタイルの酸洗い後に製品を据付けてください。
 - ・吹付塗装仕上げの外壁…必ず吹付塗装後に製品を据付けてください。
 製品据付け後、酸洗いや吹付塗装を実施する場合は、有機溶剤などが製品に触れないように必ず養生テープなどで養生してください。また、養生テープをはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。
- ギャリ幅（16mm）以下の小動物（アブラコウモリなど）が侵入する可能性のある環境には、網付を推奨いたします。
- 網より小さい虫（ショウジョウバエ、ウンカなど）は侵入するおそれがあります。
- 室内側からの汚染空気や設置環境により、外壁面が汚れることがあります。
- フレキシブルダクトに据付ける場合、アルミテープ巻きつけのためダクトが天井面より100mm以上引き出せることを推奨いたします。

据付方法



お願い

- メンテナンス作業用の床面（バルコニーや共有廊下など）がない場所に据付けの場合は、ベントキャップの全周に市販のシーリング材を施してください。
- ベントキャップと外壁面とのすき間が大きい場合は、ベントキャップと外壁面のすき間に市販のシーリング材を施してください。
- ねじの締付トルクは 1.4N・m 以下としてください。インパクトドライバーは使用しないでください。締め付けすぎるとねじや固定金具が破損することがあります。
- パイプガイドが傾いている場合は、傾かないように据付けてください。

<スパイラルダクトへの接続>

※φ125タイプは硬質ポリ塩化ビニル管への接続を含みます。

1. 天井板に据付穴をあける。
※ダクトを天井面に合わせて配管してください。
2. ベントキャップのねじ(φ150タイプ以下は2本、φ175タイプ以上は4本)をはずしベントキャップを取りはずす。
3. ベントキャップを据付ける前に、パイプガイドにシーリング材を塗布する。(防水処理および落下防止)
4. 天井板の据付穴およびダクトにパイプガイドを差し込む。
※固定金具の距離(L)が天井板厚以上であるように調節してください。
※固定金具(3か所)は内側にたたくで挿入してください。
5. ねじ(固定用)3本を締め付け、パイプガイドを天井板に固定する。
※ねじを締めると固定金具が下がり、天井板を挟みます。
6. ベントキャップをねじ(φ150タイプ以下は2本、φ175タイプ以上は4本)で取付ける。

<フレキシブルダクトへの接続>

1. 天井板に据付穴をあける。
※ダクトを天井面に合わせて配管してください。
2. ベントキャップのねじ(φ150タイプ以下は2本、φ175タイプ以上は4本)をはずしてベントキャップを取りはずす。
3. ダクトを据付穴より100mm以上引き出し、風漏れがないようアルミテープでパイプガイドに接続する。
※固定金具をアルミテープで巻きつけないでください。
4. 天井板の据付穴にパイプガイドを差し込む。
※固定金具の距離(L)が天井板厚以上であるように調節してください。
※固定金具(3か所)は内側にたたくで挿入してください。
5. ねじ(固定用)3本を締め付け、パイプガイドを天井板に固定する。
※ねじを締めると固定金具が下がり、天井板を挟みます。
6. ベントキャップをねじ(φ150タイプ以下は2本、φ175タイプ以上は4本)で取付ける。

お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

点検項目

- 製品の据付け状態は正常であるか?
- ねじ類に緩みなどがないか?
- 樹脂部品に割れなどがないか?
- 温度ヒューズに著しい腐食(銅板が青緑色へ変色)の発生がないか?

※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買い上げの販売店、工事に依頼してください。

- シーリング材に亀裂などの劣化はないか?
- 製品各部に腐食や塗装の浮きなどがないか?
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じていないか?

清掃

■塩害エリア・重塩害エリアや融雪剤の影響を受ける設置環境では、付着した塩分などを除去するために定期的(1年以内ごと)に水洗いを行ってください。塩分や黄砂などの汚れをそのままにしておきますとサビの発生原因となります。

■網付の場合は油やほこりが付着しますと換気風量の低下や換気扇の故障の原因になりますので約3か月に1度を目安に清掃を行ってください。

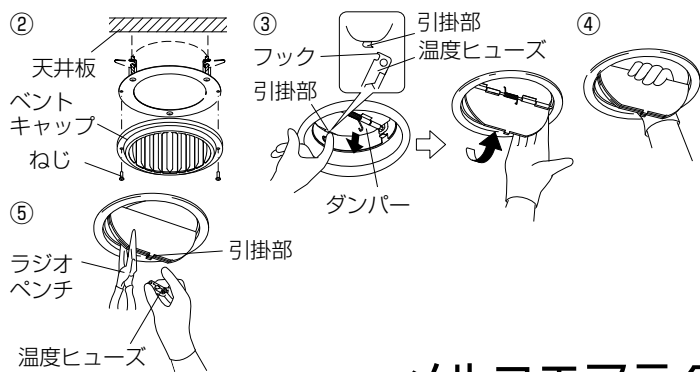
- 掃除機などではこりを吸い取る。掃除機が届かない場合は細いブラシなどで網に付着したほこりを清掃する。
- 汚れのひどい場合は、以下どちらかの方法で清掃する。
 - ・中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないよう布などでふき取る。
 - ・網をはずして中性洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃以下)に浸してからきれいな水で洗い、よく乾かす。

※網のほす方については温度ヒューズの交換を参考に実施してください。

■清掃・修理などの際にはシンナー・アルコール・その他化学薬品(酸・アルカリ洗剤)などの溶剤等を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。

温度ヒューズの交換

お願い ●温度ヒューズは、指定された公称動作温度の当社製温度ヒューズを使用してください。



- 温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。取付け・交換はお買い上げの販売店、工事に依頼してください。
- はずしたねじはなくさないでください。(取付ける際に必要です)
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は①から⑦、温度ヒューズを交換する場合は手順①②の後、⑤から⑦を行ってください。

- ①製品外周にシーリング材が塗布されている場合は、シーリング材を切断する。
- ②ベントキャップ部(網)のねじ(φ150タイプ以下は2本、φ175タイプ以上は4本)をはずし、ベントキャップ部(網)を取りはずす。
- ③温度ヒューズのフックで片方のダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。
- ④手を入れてもう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。
- ⑤両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときは、ラジオペンチなどを使用してください)
- ⑥ベントキャップ部(網)を元通り取付ける。
※1.4N・m以下の締め付けトルクで締め付けてください。
- ⑦製品外周にシーリング材が塗布されていた場合は、据付方法の要領でシーリング材を塗布する。
※温度ヒューズの取付けが困難な場合は、製品を壁からはずして交換をしてください。交換後は、据付け時と同様の手順で据付けてください。

メルコエアテクノロジー株式会社